

順序	会 派 名	氏 名	答弁を求める者	
			市 長 関 係 局 長	教 育 長
5	日 本 共 産 党	園 山 え り		

発言の要旨

- 1 物価高騰の下での大幅な市民負担増の影響について
  - (1) 新年度予算における住民サービスの削減及び負担増について
    - ① 施設使用料の引上げの対象施設数と影響額及び特徴
    - ② 国保税など負担増となった事業数と影響額
    - ③ 敬老祝金など住民サービスの削減となった事業数と影響額
  - (2) 使用料改定を14年間据え置いてきた理由
  - (3) 市民生活の厳しさについての認識と負担増が及ぼす影響についての市長の見解
  
- 2 放課後等デイサービスの一部有料化について
  - (1) 本件についての障害者自立支援協議会子ども部会の開催状況
  - (2) 市民団体からの署名の提出や令和6年第4回定例会での答弁の前に協議会や部会を開催しなかった理由及びその間の当局の協議内容
  - (3) 子ども部会における本件の協議で何を指摘され継続審議となったものか
  - (4) 子ども部会での協議が継続しているにもかかわらず議会への提案となった理由
  - (5) 協議会や部会は当局の既定路線を確認させるための追認機関と考えているのか。このような進め方は形骸化につながるのではないか
  - (6) 市長は市民団体に直接会って説明をすべき。市長の見解
  
- 3 八重山における風力発電計画について
  - (1) 八重山は景観資源ではないのか。国が認識する景観資源とは何か
  - (2) 環境アセスメント法における住民合意の考え方についての当局の見解。手続は十分か
  
- 4 市営住宅について
  - (1) 公営住宅等長寿命化計画と現状について
    - ① 同計画の進捗状況
    - ② 令和6年度予算と新年度予算との比較と要因
    - ③ 新年度の取組
    - ④ 修繕事業等について
      - ア. 給湯設備設置の考え方
      - イ. 6年度の実施状況
      - ウ. 新年度の取組と要件緩和についての見解
    - ⑤ 昇降機防災対策改修事業の概要
    - ⑥ 同計画を促進するための課題

## (2) 駐車場使用料について

- ① 6年度の使用料総額の見込み及び住民の声と課題認識
- ② 管理業務の委任でサービスはよくなったのか
- ③ 7年度の使用料の見込み
- ④ 使用料の見直しが必要ではないか

## (3) 59歳以下の単身世帯の入居要件緩和について

- ① 単身世帯を対象とする16住宅のうち条例改正後の募集状況と根拠
- ② 新年度の取組と周知広報

## 5 川内原発について

## (1) エネルギー基本計画について

- ① 主な変更点
- ② 原発の「依存度低減」から「最大限活用」へと大転換したことへの見解
- ③ 原発の建て替え方針を緩和し「開発・設置に取り組む」としているが「川内原発の3号機増設は凍結すべき」とする市長の見解
- ④ 再エネの比率を4～5割程度、火力発電を3～4割程度とすることについてゼロカーボンシティを宣言している本市の見解

## (2) 原子力総合防災訓練を踏まえた課題について

- ① 住民が孤立した場合の情報源
- ② 屋内退避で避難を継続する住民への救助の考え方
- ③ 鹿児島県原子力防災アプリは災害時に運用可能なのか。課題認識
- ④ 能登半島地震の教訓は何か

## 6 鹿児島における安全保障の問題点と平和の取組について

## (1) 日米地位協定の改定について

- ① 改定の是非について都道府県を対象に行った調査結果の内容
- ② 改定が「必要」とした鹿児島県の理由
- ③ 米軍機による低空飛行の目撃情報等の特徴（令和5年度、県・市それぞれ）

## (2) 本人同意のない自衛隊への名簿提供について

- ① 7年度の対象者と除外申請の期間及び周知広報
- ② 18歳を対象とする名簿提供は自衛官募集に効果があるものか
- ③ 県内の名簿提供と除外申請の導入状況及び申請件数の傾向
- ④ 毎年100人以上の市民が除外申請を行っていることについての見解

## (3) 特定利用港湾について

- ① 錦江湾での訓練や港湾利用の見通し
- ② 特定利用港湾に指定後、新年度予算の見通しと当局の見解

## (4) 平和の取組について

- ① 国の安全保障政策に対する見解
- ② 核兵器禁止条約第3回締約国会議へのオブザーバー参加を見送った日本政府への見解

## (5) 平和への市長の思いについて

- ① 本市上空でも低空飛行が常態化し市民の安心安全が脅かされており日米地位協定の改定が「必要」ではないか。市長の見解
- ② 平和都市宣言35周年・戦後80年記念事業を行う市長の平和への決意

## 7 農業振興について

- (1) 物価高騰における農家への影響
- (2) 備蓄米を放出することによる米価への影響とこのような緊急事態に陥った要因
- (3) 国に対し所得補償や価格保障を求めるべきではないか
- (4) 有機農業の推進について
  - ① 市長マニフェストでの位置づけとそれに関する取組
  - ② みどりの食料システム戦略を踏まえ本市目標をどのように設定するのか
- (5) 生産緑地制度の導入について
  - ① 意向調査の特徴と今後のスケジュール
  - ② 生産緑地制度の早急な導入を

## 8 公共交通について

- (1) 公共交通が直面している課題認識
- (2) 深刻なドライバー不足がなぜ解消されないのか
- (3) 公共交通不便地対策事業について
  - ① あいばす事業者が運行継続に至らなかった経緯
  - ② あいばすの運行継続に向けた今後の見通し
- (4) 路線バス廃止地域支援事業について
  - ① 令和6年度の取組と稼働率及び課題認識
  - ② 利用者を拡大していく取組
- (5) 地域主体型コミュニティ交通運行支援モデル事業について
  - ① モデル事業の効果検証と新年度も継続した理由
  - ② 今後対象地域を拡大していくことについての見解
- (6) 新年度における主な取組と期待される効果

順序	会 派 名	氏 名	答弁を求める者	
6	にじとみどり	のぐち英一郎	市 長	副 市 長
			教 育 長	代表監査委員
			市立病院長	関係局長
			選管事務局長	農業委員会事務局長

発言の要旨

- 1 2024年度と2023年度を比して、市の内部事務と市民に記入や対面応答を求めるものなどの中でそれぞれの増減・見直したものの数・所要時間などの詳細はどのようなものか。また、こうした時代の変化に合わせる業務の不断の増減の進行管理をそれぞれどのように行っているものか
- 2 過去5年間におけるPVあるいは利用の少ないサイトとシステムの廃止や見直しなどの数量とその根拠、並びにそれらのうち、ゼロから本市が開発したものとパッケージやクラウド利用の区分はどのような経過にあるか、廃止や見直しの普段のチェックや検証（例えばかごしまデジタルミュージアム）はどのように業務の中に組み込まれているものか
- 3 過去5年間の新年度予算を比して、公共調達におけるカーボンフットプリント（2050ゼロカーボン達成のため）や災害時のレジリエンスを念頭に置いた公共調達の推移と、市内でお金の巡る乗数効果にも資するような広報媒体等における地元のクリエイターやアーティスト等への発注などソフト事業発注等の数量と金額の状況、また、ソフト・ハードのそれらはどのように常日頃から調査と把握を行い、公共調達における地産地消とその受注機会の拡大を着実に進めているか
- 4 本市に決算に関する書類を提出する財団や協会などの施設における不透明な採用人事を完全廃止して以降、直近までの採用人数と採用以降に業務に必要な資格を取得した資格ごとの人数について
- 5 ほぼ10年近く国が推進する中で、本市が谷山支所の大規模改修以外、いまだに全く見えてこない本市公共建築のZEB化は、高効率エアコンやLEDの拡充・加速よりも喫緊との市長認識か、並びに当局所管の「国の脱炭素化推進事業費」の活用認識など地方財政措置の的確な把握と地方債の活用の考え方。加えて2025年度は断熱による省エネ健康建築と断熱DIYの普及をどのように進める予定か
- 6 国から全国1位の交通渋滞の県庁所在地と公表（2021年度の新型コロナの蔓延状況下での調査に基づく）され、平地が極めて少ない本市の対策として、今日までの長期間の対策の具体経過並びに新年度は幾らを何に費やす考えか
- 7 今日における渋滞対策は人口爆縮における自家用車などの流量自然減であることを勘案すると、国・県・市道の拡幅・交差点改良・給付や減免を伴うことでインセンティブを確実に付与した時差出勤と公共交通機関と自転車の利用促進とそのための環境整備以外になかなか今の鹿児島市における現実的な実効策はないのではないか、それら以外の特段の有効策はどのようなものがあると認識しているか
- 8 新年度議案のカゴシマシティコレクション販路拡大事業の取扱い品目に飲食物や伝統工芸品以外の知的財産などからなるプロダクト（書籍やアーティストの作品など）はどのように選定するものか。「稼ぐ」と「選ばれる」本市実現のためにも大いに発信する必要があるのではないか

- 9 本市の登れる最高峰八重山一带の絶滅危惧種を保全する新年度の具体策について
- 10 アミュプラザの観覧車より 50m以上高い巨大な 150m風車が8基計画されている外資のビジネスによる県の景観ガイドラインと国の保安林解除の動向と市長意見や同意のタイミングの見込みと、現時点での市長の考えについて
- 11 原発災害時に孤立する可能性をつい最近危機管理局が認識した本市郡山地域の2つの避難所に対象世代や聴覚の障がい並びに加齢に伴う聞こえの問題も考慮した情報提供などのソフトとハードの整備状況と今後の考え、並びに対象を細かく把握した安定ヨウ素剤各種を備蓄する考えについて
- 12 医療や司法や災害時など命や健康に重要な影響が考えられる局面における多言語通訳（ベトナム・インドネシア・フィリピンを念頭に）の確保状況と現状の実効性と課題認識について
- 13 本市教育行政について
- (1) エシカル消費と環境教育と持続可能な鹿児島市を進めるために水環境を保全する石けんを全校で利用する必要性の認識と洗剤や石けんに含まれることもある蛍光増白剤の健康影響など水質影響について学ぶ機会の現状と今後についての考え
  - (2) 10年の節目で廃止の期待もあった土曜授業の新年度とこれからの在り方をどのように考えているか
  - (3) 新型コロナが蔓延していた時期にマスク着用機会が多かった子どもたちの滑舌や発声の現状評価と課題認識の有無並びに何か対応を始めているか
  - (4) 避難所とされている市立学校の体育館の空調設備の現状と令和6年度に創設された空調設備整備臨時特例交付金の活用とそれらを含む市立学校の空調設備の光熱費の7年度からの交付税措置の動向と本市の状況
  - (5) 給食のムスリム対応の現状と課題、並びに新年度のオーガニック拡充の見通し
  - (6) 桜島の学校施設を桜島に長年住み桜島を描かれている方（のぞえ 宗男氏）の作品展示など文化芸術の拠点として活用することによる桜島の活性についての市長の考え